

令和4年度 浜松市立都田小学校 グランドデザイン

学校教育目標

夢に向かって 命を輝かせる子
～河西訓導から学ぶ「命の尊厳」～

アンケート
項目番号

	①⑩⑪	②③⑫⑬	④⑤⑭⑮	⑥⑯⑰
	み らいに向かって	や りぬく力	こ ころやさしく	だ いすき都田
キャリア教育との関連	課題対応能力 (考える力)	自己理解・自己管理能力 (チャレンジする力)	人間関係形成・社会形成能力 (聞く・伝える力)	キャリアプランニング能力 (つなげる力)
目指す子供の姿	解決に向けた適切な計画を立て、課題に取り組む。	自分の長所や課題に気付き、自分らしさを発揮するとともに、目標を持って粘り強くやり遂げようとする。	多様な考えや立場があることを理解し、相手に応じた適切な表現で自分の考えを伝える。	学習を通して地域・社会の担い手として何が出来るか考え、行動できる
主な取組	◎ 授業改善 ◎ カリキュラムマネジメント ◎ まなBookの活用 ◎ 授業のユニバーサルデザイン化	◎ 宿泊訓練、修学旅行 ◎ 持久走記録会 ◎ すこやかウィークの充実 ◎ キャリアパスポート活用	◎ 命を大切にする日(全校道徳) ◎ 天白会発表 ◎ ほかほかタイム ◎ 授業での学び合い活動	◎ 総合的な学習(地域活動) ◎ 河西碑献花式・ボランティア清掃 ◎ 滝沢放歌踊りの伝承 ◎ 係活動・縦割り班活動

⑦⑧⑨ **キャリア教育を根底に据えた学び**
「かかわり」を意識した学び
今の学びと将来とのかかわり 地域、社会と自分とのかかわり 学びと学びのかかわり

命を大切にする誓いの言葉

- ①自分の考えを、大きな声で伝えます。
- ②自分で計画を立てて、学習します。
- ③ルールを守って、安全に生活します。
- ④目標に向かって、努力を続けます。
- ⑤明るいあいさつや、返事をします。
- ⑥自分も友達も大切にします。
- ⑦学校や地域を、きれいにします。
- ⑧地域の活動に参加します。

<p>校内研修・学習指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎ 授業改善(わかる授業づくり) 主体的・対話的で深い学び コミュニケーションを大切にしたい学び ◎ 計画を立てて行う家庭学習 ◎ キャリア教育実践計画・学びの振り返り ◎ ICT機器の効果的な活用、情報モラル教育、家庭との共通理解 <p>教師力・授業力を高める</p>	<p>家庭・地域との協働</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎ PTAとの連携 ◎ 地域施設との交流 ◎ 保護者との交流(懇談会、家庭訪問、三者面談) ◎ 学校運営協議会 学校支援CDとの連携 ◎ ボランティアとの連携 ◎ 常葉大学との連携 <p>コミュニティスクールの推進</p>	<p>生徒指導・発達支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎ 報・連・相の徹底、情報共有 ◎ 生徒指導委・発達支援委の充実 ◎ SC、SSWとの連携 ◎ 行政・警察・医療機関等との連携 ◎ 各種アンケート結果の活用 <p>チーム都田で子供を見守る体制</p>
---	---	---

学校教育目標「夢に向かって 命を輝かせる子」の育成に向け、グランドデザインにある目指す子供の姿「**み**らいに向かって」「**や**りぬく力」「**こ**ころやさしく」「**だ**いすき都田」(具体的な姿は、グランドデザイン参照)に、キャリア教育4つの力<考える力><チャレンジする力><聞く・伝える力><つなげる力>を関連させることで、キャリア教育の概念を根底にした教育活動を進めてきた。これにあたり、今年度は特に、「かかわり」を意識した学びについて研修を重ねてきた。

- そこで、①キャリア教育で目指す子供の姿【結果その1】
- ②かかわり意識して学ぶ姿【結果その2】
- ③命を大切にする姿【結果その3】
- ④学校体制【結果その4】

について、児童・保護者・職員による自己評価を4段階(そう思う・だいたいそう思う・あまりそう思わない・そう思わない)で行った。

教育目標・重点目標に関わる教育活動の成果と課題と来年度に向けての対策

みらいに向かって <考える力> ⇒アンケート項目①⑩⑪

①⑩「解決に向けて適切な計画を立てて、課題に取り組んでいる。」

【結果・成果】	【課題】
<p>中「そう思う」「だいたいそう思う」が100%。 ⇒○学校生活・学習の充実が伺える。</p> <p>低高「そう思う」が減少。 ⇒●低学年は、学習や家庭学習に慣れてはきたが、主体的な学習としては十分ではない。 ⇒●自分の生活をシビアに評価。</p> <p>保変化なし ⇒●家庭学習での成果が表れていない。</p>	<p>▲本読みカードでの家庭学習の計画立てがマンネリ化。 ▲学校での学習の様子や家庭学習の進め方について、保護者の関心を高める。 ▲家庭学習を宿題ではなく、自分のための学習として位置付けていく。 ▲授業改善がどのようにできているかの見直し。 ⇒例えば、子供たちは、自分の考えをもつことができているのか、課題解決のための方法を自分で考えているのか等。</p>
<p>対策</p>	<p>★家庭を巻き込んだ家庭学習にしていく。(家庭を動かす手立てを今後検討。)</p> <p>★一律ではなく、自分が必要な学習を考えさせる。(発達段階に応じた家庭学習は今後検討。)</p> <p>★授業改善として、主体的な学習になるように、学習課題を自分事として捉えさせ、「○○したら解決できるのではないか」「自分なら○○をしてみよう」のように、予想したり解決方法を考えたりする時間を確保する。そして、自分で選んだり考えたりしたやり方でやらせてみる。(アンケート項目④⑤にも大きく関係しており、友達との交流も生まれ、「伝え合う」力の向上につながると思う。)</p>

⑩「自分の考えを大きな声で伝えることができている。」

【結果・成果】	【課題】
<p>低中「そう思わない」が減少。 ⇒○天白会や学習発表会などでは、大きな声で堂々と発表する姿が見られた。 ⇒○自分が言うべきせりふが決まってお り、練習を積み重ねると自信をもって発表することができる。</p>	<p>▲まなBookに示されている「めざせ！発表名人・聞き名人」が、日ごろの授業で十分活用されていなかった ので、もう一度共通理解した上で指導に生かす。 ▲日ごろの授業の中で、自分の考えを伝えられるように する。 ▲子供たちの様子を見ると、言いつばなしで、「伝える」と いう意識が低い。</p>
<p>対策</p>	<p>★まずは、自分の考えをもつことが(考える時間の確保)大切である。これは、自信をもたせることにもなる。</p> <p>★自分の考えを伝えても大丈夫だという、学級の雰囲気づくりも必要である。 ⇒ソーシャルスキル・エンカウンターの時間を年間計画に位置付ける。 (アンケート項目④⑤にも大きく関係している内容のため、そちらを参照)</p>

やりぬく力 <チャレンジする力> ⇒アンケート項目②③⑫⑬

②「自分の長所や課題となることが、分かっている。」

【結果・成果】	【課題】
<p>全学年「そう思わない」が0%。 ⇒すこやかウイークでのほかほかメッセージにより、自分のよさを知ることができた子がいる。</p> <p>保・教●「そう思う」が減少。</p>	<p>▲アンケート項目⑬教職員「自分は子供のよさや頑張りを見逃さず、温かく励まし価値付けている」の「あまりそう思わない」が2割いることから、教職員の励まし・称揚が少ないと考えられる。</p>
<p>対策 ★教師が気付かせてあげることが大切である。 ⇒子供を力強く励ます・具体的場面で具体的な内容を褒めることで、価値付けていく。</p>	

③「自分の目標をもって、粘り強くやり遂げようとしている。」

【結果・成果】	【課題】
<p>全学年「そう思わない」が0%。 ⇒学期のめあてから、2週間のめあてにしたことで、子供たちは振り返りがしやすくなった。 ⇒自分のめあてを常に意識することができていた。</p> <p>保・教●「そう思う」が微増加したが「あまりそう思わない」「そう思わない」も増加。</p>	<p>▲保護者は、学校の子供の様子ではなく家庭で見る子供の様子进行评估するので、学校での子供の頑張りが伝わるようにしたい。</p> <p>▲めあての内容が学年に合っていないので、発達段階や個々に合っためあてにしていく必要がある。</p> <p>▲行事が立て込んでいるときは、めあてをじっくりと考えさせることができないので、時間の確保が課題である。</p>
<p>対策 ★2週間めあての見える化。 ⇒積み上げが分かるめあてカードとし、保護者にも見ていただけるように掲示する。 ★学年便りの裏面を活用し、子供たちの学習・生活等での活躍の様子・具体的な表れを積極的に紹介する。</p>	

こころやさしく<聞く・伝える力> ⇒アンケート項目④⑤⑭⑮

④「いろいろな考え方や立場があることを理解して、相手の話を聞いている。」

⑤「相手に合わせた表現で、自分の考えを伝えることができる。」

	【結果・成果】	【課題】
	<p>中「あまりそう思わない」「そう思わない」が減少傾向。</p> <p>低・高●「そう思う」の割合が10%以上減少している。</p>	<p>▲どこまでできれば「できている」になるか、子供たちはよく分からないまま評価しているのではないか。</p> <p>▲子供たちが「自分の考えを伝えたい」学習になっているか。</p>
対策	<p>★目指す子供の姿は、子供たちでも分かりやすい(評価できる)姿で示す。 ⇒「どうやって聞く・話す」のがよいのか、低・中・高学年の発達段階に応じた指標となるものをつくる(見直す)ことで、「話す・聞く」の基本から「伝え合う」「深め合う」など、話合いの充実につながる指導ができるようにする。</p> <p>★「自分の考えを伝えたい」学習にするためには、単元計画が重要である。 ⇒単元の導入段階で子供たちの興味・関心を高め、「どうしてかな」「知りたいな」「できるようにになりたいな」などの気持ちを引き出しながら学習の計画を立てていく。 ⇒学習の流れやゴールが見通せることで、子供たちのモチベーションもアップし、受け身の学習から主体的な学習への変化が、「聞く力」「伝える力」のアップ、さらには「振り返り」にもつながると考える。</p> <p>★学習の中で「伝える」だけでなく「伝え合う」ことができるようにする。 ⇒「伝え合う」力を高める手立ては、今後検討。</p>	

⑮「自分も友達も大切にすることができている。」

	【結果・成果】	【課題】
	<p>全児童 否定的評価なし。</p> <p>低「そう思う」が20%以上アップ。 ⇒それぞれ違った幼保こども園から入学した1年生が、学校生活に慣れ、仲良く誘い合って外遊びする様子が見られた。 ⇒中・高学年は、火・木曜日のロングの昼休み(12:50～13:35)を使って、イベント係が学級遊びを計画・実施している。 ⇒体育の授業で学習した競技を、昼休みにも行う学年もある。(学習が遊びにもつながっている) ⇒月始めの誕生日給食の日は、誕生月の子の好きな遊びをみんなで一緒にやって、お祝いしようという気持ちが育っている。</p>	<p>▲「けんかがない」というわけではないので、いじめにつながるないようにする。</p>
対策	<p>★学校いじめ防止対策基本方針を全職員で見直し、いじめの未然防止に努める。</p>	

だいき都田 くつなげる力 ⇒アンケート項目⑥⑬⑰

⑬⑰「学校や地域をきれいにしている。」「地域の活動に参加している。」

	【結果・成果】	【課題】…
	<p>全対象「そう思わない」の評価が減り、「そう思う」「だいたいそう思う」の評価が、アップしている。 ⇒縦割り清掃だけでなく、河西碑清掃やクリーン作戦の実施が、高い評価につながっている。 ⇒秋祭りが各地で行われ、笛や太鼓、屋台の引回しや浦安の舞など、地域で子供たちが活躍する場があったことが、高い評価につながっている。</p>	
対策	<p>★河西碑献花式や放歌踊りを継承していくことで、地域の一員としての意識を高める。 ★月1回の河西碑・都田駅の清掃や、年1回のクリーン作戦を継続実施していく。</p>	

かかわりを意識して学ぶ姿 ⇒アンケート項目⑦⑧⑨

⑦「学習したことや経験したことが、これからどんなとき・どんなところで生かすことができそうか気付いている（分かっている）。」

	【結果・成果】	【課題】
	<p>全対象「あまりそう思わない」の評価が減った。 中高では、「そう思う」「だいたいそう思う」が100%となった。 ⇒研修での取り組みがキャリアの力の向上につながっている。 ⇒子供が気付かないところを「教師の一言」などで、教師が気づくことができているのではないかと。</p>	<p>▲教師は、子供たちがより主体的に学んだり、考えを深め広げたりできるような授業をしていくことが大切である。</p>
対策	<p>★主体的な学習・深い学びに向けた授業改善をさらに進める。(具体的な方策は今後検討)</p>	

⑧「地域や社会と、自分とのかかわりを意識して学んでいる。」

	【結果・成果】	【課題】
	<p>全学年「そう思う」「だいたいそう思う」を合わせた評価が95%を超えている。 ⇒特に低学年は、2学期に地域活動を多く体験していることが成果に結び付いている。</p>	<p>▲高学年は、「自分とのかかわり」を捉えることができなかった。 ▲高学年は、「自分に何ができるか」という点について考える場を十分もてなかった。</p>
対策	<p>★地域活動や総合的な学習等において、地域の人・もの・ことに触れる場面をつくる。 ★地域の人・もの・ことに触れることで、自分との関わりを知り、自分が地域の一員であるという意識を高める。</p>	

⑨「今まで学習したことや経験したことを使って、考えたり行動したりすることができている。」

	【結果・成果】	【課題】
	<p>低中「あまりそう思わない」「そう思わない」の割合が減り、全対象でほとんどが「そう思う」「だいたいそう思う」を合わせた評価となった。 ⇒1年生は、ノート書き方をはじめ学習の基礎・基本となる学習習慣を身に付けられるようになってきた。子供たちからは、「できることがうれしい」という気持ちが伝わってくる。</p>	<p>▲基礎的な内容は、教師が見取っていくことが大切である。 ▲考える力を高められるように教師が仕掛けていくことも必要である。</p>
対策	<p>★アンケート項目①④⑤でも挙げたが、主体的・対話的な学習に向けた授業改善をしていく。</p>	

